

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン（令和2年3月31日現在）

基本目標 1 あったかい心を育てる福祉でまちづくり

基本計画1	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	29評価	30評価	R1評価	意見等
福祉への関心を高める	あずまし計画を町民主体で推進	町民主体の活動を促進する事業実施と評価を行う	あずましプラン推進会議の設置と運営	① 3.4	① 4.0	① 01 3.4	
	住民座談会の開催	地域福祉を進めていくうえで中核となる町内会との協働体制を強化する	町内会、各団体へ座談会の開催と運営	② 2.2	② 03 2.1	② 07 1.2	
	町民が集うフォーラムの開催	実践報告と福祉意識の啓発、福祉課題の共有化を促す	町民フォーラムの開催	③ 4.1	③ 4.2	③ 4.3	
	子どもからのメッセージ発信	まちの未来を担う子どもたちに福祉意識の啓発と発表	子ども・未来・まちづくりサミット	④ 4.0	④ 01 4.2	④ 4.2	
福祉への理解を深める	地域福祉活動の充実	福祉活動に関心を持ち、理解し、福祉施設等と協働した福祉でまちづくりの参画意識を高める	認知症サポーター養成研修会の開催	⑤ 2.5	⑤02 3.8	⑤ 4.3	
			福祉講演会の開催	⑥ 4.0	⑥ 4.2	⑥ 4.2	

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

基本目標 1 あったかい心を育てる福祉でまちづくり

学習の機会を提供する	福祉活動の促進と充実	地域福祉について理解し様々な人たちとの出会いやふれあいを通して福祉の担い手を育成する	小・中・高校生福祉総合学習	⑦ 4.3	⑦ 4.5	⑦ 4.4	子どもに現場での見学/体験を通じて福祉についてリアルに知ってもらう機会はとても重要だと思います。 それを、これだけの頻度で、充実した内容でできていて素晴らしいと思います。
			ボランティアスクールの開催	⑧ 3.8	⑧ 3.8	⑧ 3.6	
			アクティブボランティア養成研修の開催	⑨ 4.1	⑨ 3.4	⑨ 3.4	
学習の機会を提供する	福祉活動の促進と充実	地域福祉について理解し様々な人たちとの出会いやふれあいを通して福祉の担い手を育成する	世代間交流会の開催	⑩ 4.5	⑩ 4.3	⑩ 4.5	
福祉の人づくりを進める	目的に応じた人材の育成発掘	ボランティアセンターを充実し、地域福祉を支える知識やスキルを高め、地域に貢献する人材を発掘する	・生活支援のための人材育成と発掘	⑪ 3.6	⑪ 2.7	⑪ 3.5	
			・スキルアップ研修会開催	⑫ 4.3	⑫ 4.2	⑫ 4.0	

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン（令和2年3月31日現在）

基本目標 2 ずっとここで幸せに暮らしていける仕組みづくり

基本計画 2	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	29評価	30評価	R1評価	意見等
一人ひとりの存在を大切に	相談支援の充実	気軽に相談できる体制と住民周知を行う	心配ごと相談	① 3.5	① 3.5	① 3.4	現在も時々社協さんから当事業所（そらち生活サポートセンター）に相談をしていただいておりますが、今後もこういった形で連携をしていけたらと思います。町民に相談するのが不安という方については、（紹介する機会があれば）そらサポにつないでいただければ町外在住の職員が対応できるかと思っております。今後ともよろしくお願ひします。
			福祉総合相談	② 3.8			
	防犯、防災に関する支援	災害時等の支援ネットワークづくりを進める	SOSネットワークシステムの活用	③ 3.3	③	②04 2.1	
			「見守り推進事業」の対象者への支援	④ 3.9	③ 4.0	③ 3.6	
			福祉施設との連携強化	⑤ 3.6	④ 4.0	④01 3.6	
	ひとりぼっちにしない	地域福祉を進めていくための事業の充実とまちのイベントへの参画	高齢者、障がい者、幼児（母親）、子ども等との交流機会の充実と、まちづくりの場に参加することの一体感を持つ	ふれあい昼食会	⑥ 4.2	⑤ 4.1	
交流する機会と場をつくる	地域でのふれあいサロンの運営支援	一人ひとりが役割を持って主体的に関り、子どもから高齢者、障がい者誰もが参加できる仲間づくり活動を進める	あずまし食事会	⑦ 4.4	⑥ 4.6	⑥ 4.6	コロナ感染抑止の為お休みいたしておりますが、営業を再開するのであれば工夫が必要と思われます。例えば席を互い違いにし人数を半分以下にする。その代わり月2回の開催（メニューは同じで参加者は違う方）など思案が必要と思われますので何かとお忙しいとは思いますがご協議下さい。

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

基本目標 2 ずっとここで幸せに暮らしていける仕組みづくり

交流する 機会と場を つくる	地域でのふれあいサロンの 運営支援	一人ひとりが役割を持って主 体的に関り、子どもから高齢 者、障がい者誰もが参加でき る仲間づくり活動を進める	世代間交流会 (基本計画1再掲) まちの様々なイベント等の 参加	/	/	/	
			・町内会でのサロン開設	⑧ 4.6	⑦01 4.5	⑦ 4.6	
			・土曜日サロン (障がい者)	⑨ 4.4	⑧ 4.4	⑧ 4.5	
			・まんまるカフェ (母子)	⑩ 4.3	⑨ 4.4	⑨01 3.2	
			・男の料理教室	⑪ 4.3	⑩ 3.9	⑩01 3.4	
交流する 機会と場を つくる	あずまし交流プラザの拠点整備	介護予防を主とした町民が 主体的に運営する拠点を作る	・介護者サロン	⑫ 2.3	⑪01 2.2	⑪02 1.7	
			・あずまし交流プラザ拠点 の設置と運営	⑬ 4.2	⑫02 2.5	⑫02 1.7	
地域での 支え合い・ 助け合いの 仕組みをつ くる	地域や近隣での助け合い、 支え合い活動の促進	「地域包括ケアシステム」を 進めていくためのコミュニ ティ機能を充実していく	・地域見守り推進事業 (町委託事業)	⑭ 4.2	⑬ 4.1	⑬ 4.3	
			・生活支援コーディネーター の配置 (町委託事業)	⑮ 4.2	⑭01 4.0	⑭01 3.4	

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン（令和2年3月31日現在）

基本目標 3 まちに広がる笑顔のサポート体制づくり

基本計画3	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	29評価	30評価	R1評価	意見等
困りごとに気づく	住宅サービス事業 (社協サービス事業)の充実	高齢者や障がい者の日常生活を維持するための福祉サービスを展開する	除雪サービス（町受託事業）	① 3.8	①02 3.5	① 3.4	
			配食サービス（町受託事業）	② 3.9	③ 4.2	② 4.3	
			福祉有償運送				
			生活支援サービス (有償含む)				
			日常生活自立支援事業 (道社協受託)				
必要な情報を提供する	相談窓口の周知と 相談事業の充実	住民の意向として気軽に相談できる体制整備が求められており充実を図る	心配ごと相談				心配ごと相談なしが引かかりました。ささいな事でも気軽に話してもらえるようになると良いなと思いました。「こんなことで相談できない」と思っている人がいそうですね…

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

基本目標 3 まちに広がる笑顔のサポート体制づくり

必要な情報を提供する	相談窓口の周知と 相談事業の充実	住民の意向として気軽に相談 できる体制整備が求められて おり充実を図る	福祉総合相談窓口の周知			
	生活困窮者、低所得者 への支援	貸付事業を行う	道社協生活福祉資金貸付 (相談申請業務) 社協生活福祉資金貸付 (社協独自事業)			
適切なサービスに 結びつける	地域包括ケアシステムの構築	高齢者、障がい者、子ども等 へのサポート体制を作るため のサービス整備を行う	生活支援体制整備事業への 協力	① 3.8	⑦03 3.6	⑦02 3.1
			生活支援コーディネーター の配置 (計画2再掲)			
			生活支援サービスの整備、 充実	② 4.3	⑧02 3.3	⑧ 3.1
必要なサービスを提供する	介護保険、障害者総合支援法 による事業の充実	本人、家族、専門職、医療と の連携による介護サービス、 自立支援サービスを提供する	訪問介護事業			
			居宅介護事業			
			移動支援			
			地域活動支援センター			

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン（令和2年3月31日現在）

基本目標 4 しっかりスクラム組んで思い合う協働のネットワークづくり

基本計画 4	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	29評価	30評価	R1評価	意見等
各機関・ 団体と協働 する	行政区、町内会との協働	地域福祉の推進の基盤は町内会活動であり、理解と協力、そして事業の協働化を目指す	住民座談会の開催・運営 (計画1再掲)	/	/	①06 1.4	1-②同じ
			福祉情報の提供	① 4.1	③	② 4.0	
	民生・児童委員との協働	地域福祉の担い手であり、日々福祉ニーズを把握していることから、当事者の自立を高めるために、協力体制を強める	・地域の実態や福祉ニーズの把握、そして支援のあり方など情報の共有化と活動	② 3.9	③02 3.8	③ 3.7	
			・民生児童委員協議会への参加	③ 3.5			
	行政との協働	社協の事業、人事態勢も含め行政機関との連携を行う	・社協基盤の整備	④ 3.7	④01 3.2	④01 3.4	
			・あずましプランの推進	⑤ 3.6			
・地域包括ケアシステムの構築			⑥ 3.7				
各機関・ 団体と協働 する	福祉団体、関係機関、各種団体、NPO法人、ボランティア団体等との協働	町内にある様々な機関、団体が、福祉でまちづくりに、主体的に参画、活動する環境づくりを行う	・地域福祉ネットワーク推進協議会の実施（年4回）	⑦ 4.2	⑤ 4.1	⑤ 4.3	
			・福祉団体・関係機関等との連携	⑧ 3.7			

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留

基本目標 4 しっかりスクラム組んで思い合う協働のネットワークづくり

住民同士で話し合う	住民主体による在宅ケアづくり	・ボランティアのネットワークづくりを行う	・ボランティアセンターの充実（計画1再掲）	3.7	⑥03 3.5	⑥01 3.8	
			・ボランティア団体による連絡協議会設置	⑨	⑦03 2.2	⑦07 1.5	
		・地域在宅ケアのあり方を考える場づくり	⑩	⑧02 3.0	⑧03 2.4		
地域の社会資源をつなぐ	必要な資源づくりの整備と活用	住民の意見や活動に応えるよう、あずましプランを推進する	・関係法人・団体と事業開発	⑪ 2.9	⑨ 3.4	⑨ 3.6	
			・あずまし会議設置	⑫ 3.7			
住みよいまちづくりを提案する	社協体制を強化（人・ものの・金）	職員の資質向上と実施計画に基づく推進広報活動充実による福祉情報提供の強化	・法人体制の強化	⑬ 4.2	⑩02 3.6	⑩ 3.7	
			・一人ひとりの課題に合ったコーディネーション能力の育成	⑭ 2.8			
			・あずましプラン実施計画の作成、実施及び見直し	⑮ 3.3	⑪ 3.6	⑪ 3.7	
			・社協だより「ふれあい」の発行（年4回） ・ホームページ等での情報発信	⑯ 4.1			4-②同じ

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない 0. 評価保留